



平成 24 年 11 月 8 日

各 位

会 社 名 株式会社クレディセゾン
代 表 者 名 代表取締役社長 林野 宏
(コード番号 8253 東証第一部)
問 合 せ 先 広 報 室 長 大 阿 久 学
(TEL. 03-3982-0700)

平成 25 年 3 月 期 第 2 四 半 期 累 計 期 間 (連 結 ・ 個 別) 業 績 予 想 と 実 績 と の 差 異
及 び 通 期 (連 結 ・ 個 別) 業 績 予 想 の 修 正 に 関 す る お 知 ら せ

平成 24 年 5 月 16 日に公表いたしました平成 25 年 3 月 期 第 2 四 半 期 累 計 期 間 (連 結 ・ 個 別) の 業 績 予 想 と 本 日 公 表 の 実 績 に 差 異 が 生 じ ま し た の で 、 下 記 の と お り お 知 ら せ い た し ま す 。

また、最近の業績動向等を踏まえ、平成 24 年 5 月 16 日に公表いたしました平成 25 年 3 月 期 通 期 (連 結 ・ 個 別) 業 績 予 想 を 下 記 の と お り 修 正 い た し ま し た の で お 知 ら せ い た し ま す 。

記

1. 業績予想と実績との差異

(1) 平成 25 年 3 月 期 第 2 四 半 期 (累 計) 連 結 業 績 予 想 と 実 績 と の 差 異
(平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日)

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	123,500	20,000	23,500	13,000	70.79
今回実績値 (B)	122,441	22,433	27,948	17,698	96.38
増 減 額 (B-A)	△1,058	2,433	4,448	4,698	
増 減 率 (%)	△0.9	12.2	18.9	36.1	
(参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 24 年 3 月 期 第 2 四 半 期)	127,555	21,833	24,970	17,513	95.37

(2) 平成 25 年 3 月 期 第 2 四 半 期 (累 計) 個 別 業 績 予 想 と 実 績 と の 差 異
(平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日)

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	102,000	18,500	20,300	11,000	59.88
今回実績値 (B)	101,806	19,212	21,813	13,263	72.20
増 減 額 (B-A)	△193	712	1,513	2,263	
増 減 率 (%)	△0.2	3.8	7.5	20.6	
(参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 24 年 3 月 期 第 2 四 半 期)	105,462	18,498	20,222	13,675	74.44

2. 通期業績予想の修正

(1) 平成 25 年 3 月期通期連結業績予想の修正 (平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	250,000	43,000	50,000	29,000	157.92
今回修正予想 (B)	246,000	42,000	51,000	30,500	166.09
増減額 (B-A)	△4,000	△1,000	1,000	1,500	
増減率 (%)	△1.6	△2.3	2.0	5.2	
(参考) 前期実績 (平成 24 年 3 月期)	244,009	31,865	38,590	9,453	51.48

(2) 平成 25 年 3 月期通期個別業績予想の修正 (平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	206,000	38,500	41,500	23,000	125.20
今回修正予想 (B)	206,000	38,500	41,500	23,500	127.92
増減額 (B-A)	0	0	0	500	
増減率 (%)	0	0	0	2.2	
(参考) 前期実績 (平成 24 年 3 月期)	210,207	37,893	41,001	5,613	30.56

3. 差異及び修正の理由

平成 25 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績につきましては、営業収益は、概ね前回予想通りとなりましたが、営業利益、経常利益及び四半期純利益は、債権管理の強化により債権の健全化が進展したことに伴う貸倒関連費用が想定を下回ったことに加え、持分法適用の関連会社の業績が想定を上回ったことなどにより、前回予想を上回る結果となりました。

通期業績予想につきましては、営業収益及び営業利益は、不動産関連事業の再構築に伴い、継続事業と撤退事業に区分し、第 1 四半期会計期間より撤退事業に関連する損益を営業外損益に計上した影響により、業績予想を修正しております。また、経常利益及び当期純利益は、第 2 四半期累計期間の業績を踏まえ、前回予想を上回る見通しとなりました。

※上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しております。実際の業績は、様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上